



1 少子化対策と子育て支援策に関して

少子化対策と子育て支援策の財源論議と新たな財源を社会保険料に求めた点について「こども家庭庁」創設からの1年をどのように捉え、本市の政策への影響、本市の「こども計画」の策定について本市の少子化に歯止めがかかっていない今日の状況を踏まえた、本市の少子化対策と子育て支援策のそれぞれの評価について「日本創成会議」と「人口戦略会議」の本市の調査結果の分析・検証と今後の課題について本市独自の真の少子化対策とするための子ども子育て支援にとどまらない総合的な対策と全庁的な策定体制と次期「子育て夢プラン」について

2 本市の「未来共創計画」に関して

「未来共創計画」の実現における市政を取り巻く環境変化とそれに伴う既存制度の見直しの方向性について少子化対策をも包含する本市の新たな「人口ビジョン」の策定と「定住自立圏」と「連携中枢都市」の取組、「特定居住促進協議会」の創設と計画策定、民間活力の活用について「学都」との冠を持つ市長として、私立大学の閉校問題や新幹線開業と大学進学シフトの変容、並びに地方大学振興法・地方大学産業創生法と行政の関わりについて大学生の「知の蓄材」の集積を図る「学都金沢」のまちづくり、学生の定住に向けた施策の強化と「学都金沢」としての施策の再構築について北陸新幹線開通後と敦賀開業後の本市の開業効果と課題、北陸経済圏を底上げする牽引役「グレーター金沢」としての役割、北陸3県主要都市間での共創の取組、京阪神・中京方面からのダブルマイナスの課題とJRへの改善要望について北陸新幹線の大坂への早期延伸を目標とする敦賀以西の「ルート」論議に対する市長の考えについて

次期かなざわ子育て夢プラン策定への考えは

問 次期かなざわ子育て夢プランが、国の書換えでない本市独自の少子化対策となるよう、策定に向けた市長の考えを聞く。

答 次期かなざわ子育て夢プランの策定に当たっては、市長、副市長及び全局長で構成する会議で議論を深めるとともに、若手職員なども含め多様な視点で知恵を絞っていく。また、これまで以上に若者や子育て当事者のニーズを反映し、若い世代が結婚や出産に希望が持てるまち金沢を目指していきたい。(市長)

学都金沢のまちづくりに関して

問 学生の定住に向けた施策の強化と「学都金沢」としての施策の再構築について聞く。

答 本市では、8つの大学と連携協定を締結し、まちづくりや文化、産業等の分野で連携した取組を進めている。昨年度から学生が地域等での活動を通じて地域課題の解決に取り組む実践型の授業を開始したほか、今年度は新たに卒業後の市内定着に向けた社会人との交流会を開催するなど、連携のさらなる拡大を図っている。学生たちが金沢に愛着を持つとともに、様々な場面で活躍できる環境を整えることが卒業後の定着・定住にもつながってくるものと考えており、若い世代が、住み続けたいと思えるまちづくりを積極的に進めていく。(市長)



米丸消防分団 ポンプ車操法大会

子どもを産み育てやすい社会へ、次期子育て夢プランの策定について

前回、日本創生会議で、消滅可能性都市と位置づけられたものの、今回の人口戦略会議の調査では、そこから脱却した自治体がある一方で、人口減少対策において、地方と都市で課題が異なることも明らかになり、地域によって格差を見せていると言われていました。そこで、本市の前回調査と今回の調査結果をどのように分析・検証し、今後の課題をどのように捉えているのでしょうか。お尋ねいたします。今回、人口増加を他の地域からの人口流入に依存し、出生率の低い自治体を新たにブラックホール型自治体として分類しています。本市は若年女性の人口変化率が22.6%減で、人口減少のその他に分類されていますが、今後は報告書があぶり出した地域ごとの事情を加味した、より実効性のある対応を講ずる必要があります。結婚や出産は個人の意思が尊重されるべきですが、経済的事情をはじめ、様々な事情により結婚や出産の希望がかなわないのであれば、その支障を取り除かなければなりません。少子化問題は40年前から論議され続けていますが、今も解決には向かっていません。本市においても国と同様、少子化対策と子育て支援は似て非なるものとの認識が弱く、未婚率の上昇という本質的な課題への対応が抜け落ちてはいませんか。加えて、この課題について全庁的な論議は交わされていますか。

少子化を克服するためには、若い世代が希望を持ち、子どもを産み育てやすい社会にすることが必要で、子育て支援にとどまらず雇用政策や男女平等の推進、住宅政策など、幅広い視点での全庁的な論議と検討が欠かせません。男女ともに未婚率が上昇し、初婚年齢の晩婚化が後ろ倒しになっているのは、決して家族関係の社会支出の予算問題だけではないと指摘されています。本市は、能登から転入してくる若い人が多く、人口流出を防ぐダム機能を持ち合わせているとも言われてきましたが、能登半島地震で今後その機能の発揮が難しい局面にあるとの声や、近年は本市住宅地の価格高騰で、子育て世代が新居を構える際、地価の安い近隣自治体に移り住む傾向が強まっているとの指摘もあります。現在、次期子育て夢プランの策定に向けて準備が進められていると思いますが、前述した総合的な視点での全庁的な論議と施策に期待するとともに、現行プランについても少子化対策と子育て支援策を分けての検証と評価も重要と考えます。そこで、次期プランは、国の書換えでない本市独自の真の少子化対策とするために、子ども・子育て支援策にとどまらない総合的な施策が必要と考えますが、策定体制が全庁的なものになっているかも含めて、次期子育て夢プランの策定に対する市長のお考えをお尋ねいたします。



玉野 道（「道」と書いて「まこと」と読みます。）

昭和24年6月金沢市玉鉦町に生まれる。米丸小学校、泉中学校、金沢市立工業高校機械科を卒業。北國新聞社制作局印刷部勤務を経て、現職。平成3年4月金沢市議会初当選以降、現在9期目。家族は妻・長女・次女・長男の5人。

自宅：〒921-8002 金沢市玉鉦3丁目123 / 事務所：〒921-8006 金沢市進和町19番地2 TEL 076-291-1245 / FAX 076-292-4133 / MAIL tama@nsknet.or.jp



ホームページ



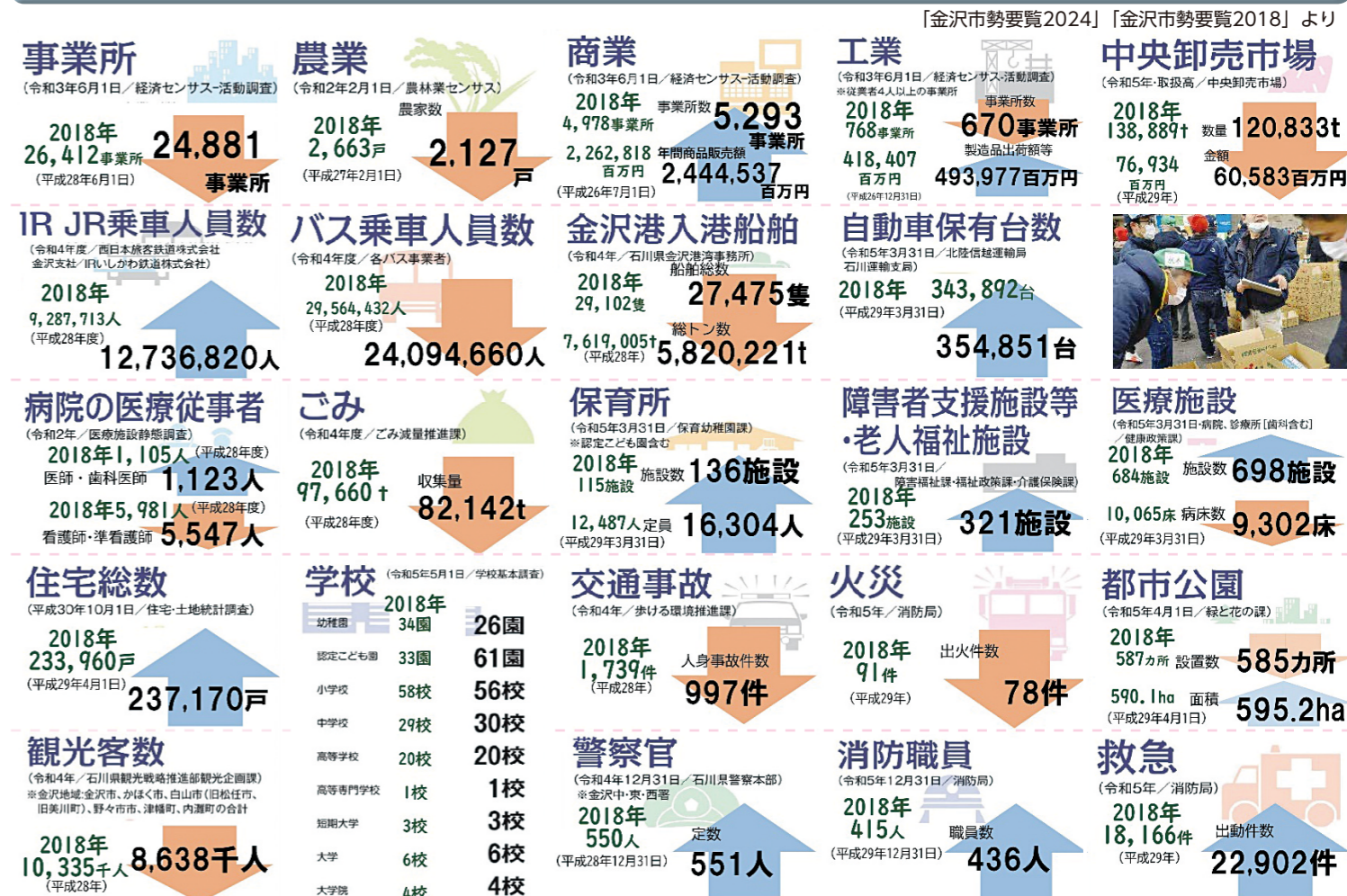
Facebook



玉野 まこと通信 Tamano Makoto Communication

No. 87 2024年11月発行

金沢市政概要 2023年×2018年



令和6年6月議会 議会質問から「少子化対策と子育て支援策の財源論議」 岸田首相は、「少子化は危機的状況にある。2030年代に入るまでが、少子化を反転できるかどうかのラストチャンス」だと述べ、異次元の少子化対策の実現に向けた子ども・子育て支援法等改正案を提出しましたが、児童福祉法や雇用保険法など20本近くの束ね法案と多岐にわたっていたことから、議論が混在した感が否めません。また、こども未来戦略・加速化プランの財源をめぐり、子ども・子育て支援金制度の創設や社会保障費の歳出削減により、実質的な負担を生じさせないとしながらも、歳出削減の具体策は曖昧な説明に終始するなど、不確実性が高い政策を当て込んだ発言が目立ちました。さらには子ども・子育て支援金の公的医療保険料の上乗せ徴収に関しても、社会保険料の負担と受益の原則に反する制度的欠陥が浮き彫りになっています。また、定額減税については、複雑で煩雑な作業に加え、給与明細への明記が義務づけられた一方で、現役世代にも負担増となる子ども・子育て支援金の徴収については、負担額も不明確なステルス増税とも言われていますが、給与明細記載の義務づけはありません。しかも、追い打ちをかけるような円安での物価高騰の影響により、実質賃金のマイナス基調が続いており、可処分所得も減少していることから、結婚や子育てに後ろ向きになる人が増えたら、少子化対策としてマイナスに働くとの指摘があります。過去に国民健康保険料の料率決定を市長に委ねる条例が、租税法律主義に反するか否かが問われた旭川訴訟判決の事例などからも、社会保険料の負担と受益の関係や財源の確保の筋道を明確に説明すべきと考えます。そこで、今回の少子化対策と子育て支援策の財源論議、特に新たな財源を社会保険料に求めた点について、市長のお考えをお尋ねいたします。 こども家庭庁が発足して1年、少子化対策や子ども・子育て政策関連の総合調整、省庁の縦割り打破、新しい政策課題への対応など、今後5年間の政策の基本方針となるこども大綱の策定と、今後3年間でいうこども未来戦略・加速化プランの施策が明らかになっています。こども大綱には、学童期のいじめ防止、不登校支援、校則の見直し、青年期の就労支援、結婚支援など、各ライフステージの重要施策や、子育て・教育の経済的負担軽減、独り親家庭支援などが盛り込まれ、こども基本法で策定が明記され、自治体の努力義務とされた自治体子ども計画の策定ガイドラインも公表されています。こども家庭庁のこれまでの成果としては、待機児童解消のための保育所の増設や、保育士の配置基準の見直し、日本版DBSの創設などが挙げられますが、若者が子育て家庭を訪れて体験談を聞く家族留学、こどもまんなか応援サポーター事業、こどもまんなか「家族の日」写真コンクールなどの施策や、予算の使い方に対して国民が期待する施策と外れているとの声もあります。



**高齢化にむかい、少子化に歯止めがかかっていない現状について**

その一方で、学校給食の無償化や小1の壁の解消など、文部科学省所管の論議は進まず、こども家庭庁の組織自体も、重要なポストの多くを厚生労働省出身者が占めているなど、省庁間の縦割り打破という発足時に期待された役割は十分に果たされておらず、司令塔としての役割が不十分との厳しい指摘もあります。そこで、先月、市長が内閣府に対して保育施設整備の予算確保について、この時期としては異例の要望活動を行ったと仄聞していますが、こども家庭庁の創設からこの1年をどのように捉えておられるのでしょうか。あわせて、本市の政策にどのような影響をもたらしたのでしょうか。また、本市の子ども計画策定についてもお尋ねいたします。

総務省は、2023年10月1日時点の総人口推計を発表、自然減は17年連続で減少幅過去最大、また、厚生労働省が発表した人口動態統計でも、2023年に生まれた子どもの数は72万7,277人と、8年連続減で過去最少、婚姻数は戦後初めて50万組を割るなど、人口減少・少子高齢社会の厳しい現実を直視しなければなりません。特に出生数は、前年度比5.1%減にとどまっているのに対し、婚姻数は前年比で5.9%減と、婚姻数の減によって出生数の減少スピードに拍車がかかっており、少子化は政府想定よりも11年も早く、この傾向が続くと、2035年には出生数が50万人を割るといった深刻な事態が浮き彫りになっています。また、原則5年ごとに実施される出生動向基本調査では、独身の18歳から34歳までで「一生結婚するつもりはない」は、男女ともに前回調査より増え、「結婚したら子どもを持つべきだ」は男女ともに減り、少子化対策には若い世代の意識変化や、結婚や出産を控える若年層へのアプローチが重要との指摘もあります。こうした社会変容に至って、子育て支援策とは別に少子化対策は何をどうするかなどの議論がようやく交わされ始めたような気がします。こども家庭庁のスローガンは「こどもまんなか社会」で、子どもだけではなく子育て世帯の公的支援を充実させることに重点が置かれていますが、なぜ婚姻数が減ってきたのか、結婚ができないのか、したくないのか、子どもを持つ前の結婚の壁についても真摯に向き合う必要があるのではないのでしょうか。結婚の壁の要因は、経済的問題に起因するミスマッチであり、所得と雇用の安定が結婚と強く結びついていることは、様々なデータでも明らかです。このことが示唆しているのは、一定の所得と、それをもちやす安定した仕事があること、すなわち地域経済の活性化に取り組んでいくことが何よりの結婚支援であり、ひいては少子化対策として重要な施策とも言えるのではないのでしょうか。少子化社会対策大綱でも、結婚支援が初めて対策の柱に据えられましたが、若者に応える有効な対策は打ち出されておらず、少子化の要因とはかみ合っていないとの指摘もあり、少子化対策と子育て支援策とは似て非なるものとの観点での論議も深化させなければなりません。そこで、本市においても、少子化に歯止めがかかっていない今日的な状況を踏まえ、本市の少子化対策と子育て支援策をそれぞれどのように評価しているのか、市長のお考えをお尋ねいたします。

この4月に、民間の人口戦略会議が分析した報告書では、2020年から2050年までの30年間で、子どもを産む中心の年代となる20歳から39歳までの女性が半数以下となる自治体を、消滅可能性自治体と定義づけ、少子化基調が全く変わっていないと警鐘を鳴らしています。また、政府はこの間、地方創生を掲げ、東京一極集中の是正を目標とし、自治体の対策が人口流出の抑制に重点が置かれたことから、多くの自治体が若い住民を奪い合うかのような移住・定住者呼び込み施策にかじを切り、独自の子育て施策の充実などに取り組んだものの、結果は制度がより充実した近隣自治体での人口競争を促したことにとどまっており、地方創生の政策効果に疑問が投げかけられています。一方で、待機児童解消などの施策は、一定の効果を上げているものの、概して単発的で対症療法的で、独自の子育て政策の充実などが過度な競争を引き起こしているとも言われています。また、地方における少子化の一因は、女性の流出にあるとの意見もあり、女性は地域を一度離れると戻る割合が低いことが統計上明らかになっていることから、女性の能力を適正に評価し、家庭との両立も可能な働きがいのある職場を創出するジェンダーギャップ解消に向けた官民連携と協働が不可欠であると同時に、自治体の実情に応じたより一層の充実が重要です。

**1 能登半島地震と当初予算案に関して**

本市の景気動向、県の予算編成方針と成長戦略の見直し、新たな都市像への影響、予算編成方針の修正、県との共創施策の取組について中期財政計画、公共施設の整備計画への影響と対応について

能登半島地震を教訓とした本市の地域防災計画とBCPの検証と学校施設の防災機能の拡充と新たな課題と執行体制の改編について

**2 診療報酬の改定と金沢市立病院に関して**

市立病院での被災者受入れ、「介護医療院」、「地域包括医療病棟」、「在籍出向」の仕組みについて外部環境変化を見据えた将来方針の策定、トリプル改定に伴う基本認識について

医療のDX化の推進と働き方改革への対応について基本構想における医療供給体制、再整備事業費、病院事業債の発行、今後のスケジュールについて

**3 介護報酬改定と介護保険制度改正に伴う「長寿安心プラン2024」の策定に関して**

介護報酬の改定、介護保険制度の改正、2025年問題への対応と「長寿安心プラン2024」について

介護保険料と利用者負担の考え方、「生活困窮者自立支援法」、「生活保護法」などの改正に伴う支援体制の整備・拡充について

金沢方式の見直しと、福祉分野における地区社会福祉協議会の在り方などの見直しについて

**4 障害福祉サービス等報酬改定と「第7期障害福祉計画」の策定に関して**

第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画の検証と障害福祉サービス等報酬改定について

第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画について

**5 金沢市中央卸売市場再整備事業に関して**

能登半島地震における食文化並びに金沢市中央卸売市場への影響と被災事業者への支援策について

「ゆとりスペース」の運用と供用開始時期の早期化と仮店舗期間の短縮化、基本設計の進捗状況について

管理費の圧縮と長期休職者の人件費並びに実働職員の確保について

埋設管の布設、場内用水の取扱い、埋蔵文化財包蔵地などローリング計画における重要項目並びに、補助金等の確保と内訳、整備基金の使途、市場内事業者への支援制度について

卸売市場を取り巻く環境変化と必要な視点と考察、概算整備費総額と減価償却を終えた建物解体費、耐用年数を超えている埋設管の取扱い、概算整備費総額と使用料算出について

「食の物流拠点」として卸売市場に求められている今日的な課題への対応、DX化と「物流の拠点化」を高める機能強化について

未来共創計画と農林水産省、国土交通省、経済産業省の法律の下での土地利用の在り方と新たな工業団地の在り方検討について



**診療報酬の改定と金沢市立病院に関して**

**問** 国が示す基本認識に対する考えと、今後の人口動態といった外部環境の変化を見据えた市立病院の将来方針の策定について、考えを聞く。

**答** 国が示す基本認識については、今日的な課題であり、人材の確保、医療・介護等との連携強化、新興感染症の対応、医療DXなど、市立病院においてもしっかりと取り組んでいかなければならないと考えている。また、救急、感染症、災害といった政策的医療の推進はもとより、福祉・保健行政との連携、かかりつけ医、介護・福祉施設とのデジタル機器等を用いた連携強化、医療人材の育成などを進め、地域住民を主体とした「地域密着型急性期病院」を目指していきたい。（病院事業管理者）

**「長寿安心プラン 2024」の策定に関して**

**問** 介護報酬改定と介護保険制度の改定をどのように捉え、「長寿安心プラン 2024」にどのように反映させたのか。

**答** 今般の改定では、地域の包括的な支援やサービス提供体制構築の推進のほか、深刻な介護人材不足への対応、現場の生産性向上の推進などが図られている。それを受け、新たな日常生活圏域の再編に併せ、地域包括支援センターの体制充実を図るとともに、介護職員の確保のための新たな就業支援やカスタマーハラスメント対策などに取り組んでいく。また、介護現場でのICT化による職員の負担軽減のほか、介護サービス基盤の整備や業務継続計画（BCP）の適切な運用支援による対応力向上などを盛り込んだ。（市長）

**「第7期障害福祉計画」の策定に関して**

**問** 本市の第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の策定とその取組について聞く。

**答** 次期計画では、国の基本指針を踏まえ、引き続き、地域生活支援拠点の推進や相談支援体制の充実・強化に取り組むほか、児童発達支援センターを中核とする地域支援体制の強化、支援者への支援などを重点施策として掲げており、地域生活支援拠点を推進するコーディネーターの配置、障害福祉サービスの質の向上や強度行動障害がある人への理解促進を図るための研修会など新たな取組を通じて、地域の支援体制の強化を図っていく。（市長）

**物流機能施設の立地等に関して**

**問** 物流機能施設の立地に伴う市街化調整区域と、農地の土地利用の在り方を聞く。

**答** 地域未来投資促進法に基づく開発規制の特例措置等については、本市の都市計画マスタープランとの調和や優良農地の確保に係る政策との整合性の確保などの土地利用を前提条件とし、開発の必然性や必要性を確認しつつ、各種法令の進めを進めていくものと考えており、物流機能施設の立地等に関する相談があれば、関係部局が連携し、適切に対応する。（市長）